



改憲・戦争阻止! 大行進 全国ニュース

No. 1
2025/01/15

【連絡先】千葉県千葉市中央区要町2-8 勤労千葉気付／東京都台東区元浅草2-4-11 五宝堂ビル5F
TEL.080-6053-1751(本山) kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp

毎月1回 15日発行
頒価100円

中国侵略戦争阻止の 巨大なうねりを!

改憲・戦争阻止! 大行進 呼びかけ人 高山俊吉 (弁護士)



「全国ニュース」という新たな態勢によって中国侵略戦争を阻止する巨大なうねりを作りだしましょう。

怒りを燎原の炎に

この国の大資本と政府は中国侵略戦争への突入を決断しています。「覇権主義中国の目に余る横暴」を叫ぶ言動は「暴支膺懲」の再来そのものです。戦争になだれ込む歴史を私たちは再び眼前にしています。また「戦争が廊下の奥に立つてみた」(渡辺白泉)になる。二度と過ちを犯さないと誓う私たちが今なすべきこと、それは今こそ反戦の声を高らかに上げて確かな行動をとることです。

ウクライナ、イスラエルはもとよりヨーロッパ各国、中東、中南米、韓国はじめ世界各国で、国のあり方を巡る根底的とも言うべき対決が展開しています。

1991年のソ連崩壊を「社会主義の崩壊」と祝賀した資本主義世界は、その根本的矛盾をますます深刻化させ、無残にも自ら崩壊の道を転がり落ちることになりました。

ロシア革命以後ソ連政府の下で進められた諸政策は資本主義政権下でも実現できるとして、搾取利益中のいくらかを吐き出す社会主義化防止

策が米国のニューディールを先頭に各国で積極的に展開されました。その政策はソ連崩壊後30年余を経てついに完全に破綻したのです。

トランプ政権との対決を

米国大統領としてトランプが再び登場しました。不透明とか予測可能性の低さとか特異な個性などの人格評価が飛びかい、世界中がおろおろしているようです。しかしこの人物の見識は実は透明で、予測可能性は高く、言動には基本的に乱調も破調もありません。個性にこだわることは問題の本質を見誤ることもつながります。

彼は、資本主義でも社会主義風のことはできるなどと格好を付けたりしない。裸の資本主義を貫こうと言います。それは搾取や収奪や排外をやり抜き関税で他国をとことん叩きのめしてでも自国の資本主義経済を生き残らせようとする政策です。このもとで到来するのはおそろべき世界核戦争の時代です。

バイデン米大統領は「日本製鉄が米国の安全保障を損なうおそれがある」と言い、日鉄はUSスチールの買収計画を禁じた米政府を提訴する方針を固めました。日本政府はその

日本製鉄を支援するという。日本の文字どおりの基幹企業が米国の安全保障を毀損するという説明ほど資本主義の本質を示す言い方はありません。トランプよりバイデンやハリスの方を期待するなどと言っていた人がおり、この国の政府は米国政府に終始追従しているなどと言いつつ既成左翼政党があります。彼らはこの状況をどう説明するのでしょうか。

日本帝国主義の打倒へ

米国はその利益のために中国を侵略する。日本はその利益のために米国と一体化して戦争に突き進むこともあれば、抗いつつ中国を侵略することもある。帝国主義とは常にそういう性格のもので、政府は財源の見通しも示さないまま2025年度の当初予算案に前年度より7500億円増やす8兆7005億円の戦争予算を組みました。いよいよそのときが到来しようとしています。

戦争の目的を他の言葉で覆い隠す恥知らずのウソは必ず民衆の中に世直しの欲求を引き起こします。私たちはあらゆる機会を捉えてこの国の中国侵略戦争を阻止する闘いを広げ、その闘いを新しい国家を打ち立てる内乱に転化しましょう。



「全国ニュース」を活用して 大行進運動を発展させよう！

改憲・戦争阻止！大行進 事務局長 本山 隆介

「大行進」結成の原点

大行進運動は、動労千葉・関西生コン支部・港合同の3労組の決断のもと2017年11月労働者集会で呼びかけが発せられ、18年3月に結成されました。それは17年5月の安倍の「2020年新憲法施行」宣言に対して、本気で改憲・戦争を阻止する運動をつくり出す決断として出発しました。同時に15年安保戦争法の国会闘争が大爆発しながら、その怒りを体制的枠内におしとどめて、自衛隊や日米安保を容認した野党連合政府構想＝野党共闘に流し込んでいくような既成の運動のあり方に対して、自らの力でその現状を打破するという飛躍をかけた主体的決断でした。議会の数合わせではなく、国家権力との非和解性を貫く労働者人民の闘いだけが戦争を止める力だという原則を貫き、全人民的運動を組織する挑戦が大行進結成の原点です。

22～24年の激闘

22年2月にウクライナ戦争が開戦し世界戦争過程に突入しました。日本では戦争主体としての米・NATOの存在を蒸発させたロシア非難の大合唱と戦争賛美（ゼレンスキー国会演説への大絶賛）という総翼賛的事態となり、運動の変革が鋭く問われました。私たちは、自国政府と対決する日本での反戦闘争の爆発が死活的であることを強烈に自覚し、22年5月「復帰」50年沖縄闘争一日米・クアッド首脳会談に対する全学連を先頭にした都心でのスクラムデモを突破口に、学生・青年を主体とした

反戦闘争を切り開いてきました。

24年4月に日米同盟の「アップグレード」が確認され、米政府が「27年対中国開戦」を公言する中で、大行進運動の発展を確実に切り開きました。東京での実力反戦デモ、辺野古資材搬入を阻止した5月沖縄闘争、反戦反核つぶしの暴処法弾圧と8・6集会禁圧攻撃を打ち破ったヒロシマの激闘、横須賀・横田・練

馬などで基地に迫る実力抗議闘争、10・7パレスチナ蜂起1周年のイスラエル大使館闘争。そして中国侵略戦争阻止の国際反戦闘争として11月労働者集会を3000人の結集でかちとりました。それは昨秋総選挙のように戦争情勢を全く焦点にしない総翼賛状況と対決する過程であり、労働者人民の実力と国際連帯で戦争を阻止するという鮮明な立場と実践が学生青年の求心力となり、闘う主体を続々と生み出しました。

「大行進」運動の基本指針

この7年の実践を通して、大行進運動の基本指針を以下のように明確にすることができます。

①米日の中国侵略戦争＝世界戦争の現実を真正面から見すえ、対決し、戦争の根源である帝国主義を打倒する反戦闘争を闘いぬく。

②「祖国防衛主義」と徹底的に対決し、自らの力で階級闘争の発展を切り開く決断をもって闘う。自国政府との対決・打倒の立場を絶対にゆるがせにせず、そのもとに大衆的怒りを結集し、闘いに組織する。

③実力闘争こそ戦争を止める力であり、労働者の持つ本源的な力＝戦闘性を解き放つ。帝国主義者の外交・対話、国会内の政治的駆け引きや数合わせに展望は一切ないことをはっきりさせ、階級闘争の実力闘争的発展をめざして闘う。

④3労組とともに資本・権力との非和解性を貫き、反戦を闘う労働運動・労働組合の登場、ストライキの復権に向かって闘う。荒々しい反戦デモ・ストライキを通して、産業報国会化を深める連合の支配をぶち破

り打倒し、階級的な拠点を建設する。

⑤学生青年こそが常に闘いの先頭に立ち、思い切って、主体的に、自己解放的に闘い抜ける運動体として発展させる。

⑥実践的には中国侵略戦争阻止の反戦闘争を、①首都を揺るがす巨大な反戦デモとして（中央政治闘争へ向かっての各地での反戦デモ）、②日米安保粉碎・全基地撤去を貫く安保・沖縄闘争として（反基地闘争）、③広島・長崎を拠点とした反戦反核闘争として、④政権中枢を打倒する権力闘争としての国会闘争として、闘っていく。

⑦以上をになう運動団体として、「大行進」を全国各地で創造的主体的につくり出していく。

この実践的立場でさらなる挑戦に踏み出すために、21年秋以来、毎月発行してきた「事務局ニュース」をバージョンアップさせ、新たに「全国ニュース」を発行しました。ぜひこの「全国ニュース」を、職場や大学キャンパスや地域での運動の拡大に活用してください。

ウクライナ戦争3年 2・23反戦闘争へ

ウクライナ戦争開戦から3年の2・23反戦闘争 in 新宿を、米日の中国侵略戦争阻止をかけた2025年決戦の扉を開く大闘争に！

対ロシアの帝国主義戦争

トランプ再登場はウクライナ戦争・中国侵略戦争情勢を激化させる。米NATOの東方拡大・軍事挑発（要衝であるウクライナのNATO加盟策動）と、それに対するロシアの反人民的軍事対抗としてのウクライナ侵攻を直接的要因とするウクライナ戦争は、大没落するアメリカ帝国主義の世界支配の暴力的維持・再建をかけた中国侵略戦争の一部であり、「ロシアを抑えつけ、中国を打ち負かす」（22年米国家安保戦略）のための対ロシアの帝国主義戦争である。

大量の軍事支援を行ってきた米欧諸国は、F16戦闘機の供与に続き、地对空ミサイルATACMSなどによるロシア領内攻撃の容認に舵を切り、ウクライナ軍はロシア領クルスクの侵攻・占領へ進んだ。ゼレンスキーは、昨年以来のロシア領内攻撃を攻勢に転じていくために、さらなる軍事支援やウクライナのNATO加盟を要求している。

だが、ウクライナでは徴兵拒否や



昨年12・21新宿反戦デモ

脱走が20万規模に膨れ上がっている。一方ロシア軍は、開戦以来の死傷者数が70万人以上となり、北朝鮮に弾薬のみならず援軍まで頼まざるをえない状況だ。プーチンもゼレンスキーも核攻撃の意義に言及し、何よりも米国が核軍事力の近代化・強化を徹底的に推し進め、核戦争危機も激化している。

いまトランプが「停戦」を唱えるのは、「ロシアの弱体化」をとらえ、中国侵略戦争にすべての力を注ぎ込み、突撃していくためである。中国侵略戦争阻止闘争の決定的一環として、ウクライナ反戦闘争を闘おう。

石破打倒の反戦大デモを

日本政府は昨年2月、日・ウクライナ経済復興推進会議を開催し、権益強奪・参戦国化の道に踏み込んだ。それは4月の日米安保の中国侵略戦

争同盟へのアップグレードと一体で、戦争主体＝積極的推進者としての登場である。日本の反戦闘争は世界戦争を阻む決定的位置を持っている。

1月20日のトランプ就任式を画期として中国侵略戦争情勢が急加速する。米政府が「2027年の対中国開戦」（米海軍文書）を公言し、24年末には対中国の日米共同作戦計画、さらに米軍核戦力発動を具体化する日米拡大抑止の初の共同文書も策定された。日米安保を中国侵略戦争同盟一核戦争同盟として決定的にエスカレートし、沖縄・南西諸島を戦場にたたき込みながら、中国を火の海にする侵略戦争に突き進んでいる。絶対に許すわけにはいかない。

1月24日から開会する通常国会は8兆7005億円という過去最大の大軍拡予算案との対決になる。長射程ミサイル配備と弾薬庫整備、精密攻撃のために不可欠な通信衛星態勢をはじめ、中国侵略戦争の要である「敵基地攻撃能力」を強化することが柱だ。25年度にはイージス艦への巡航ミサイル「トマホーク」配備も狙われ、今年3月までには市ヶ谷の防衛省に「統合作戦司令部」が設置されようとしている。何よりも年末に辺野古新基地の軟弱地盤工事着工を強行したように、石破は沖縄・南西諸島のミサイル基地化一軍事要塞化の最大の推進者だ。

2025年は中国侵略戦争一世界戦争阻止をかけた歴史的決戦だ。「9条改憲」「アジア版NATO」「核共有」を主張する石破政権を巨万の反戦デモで打倒し、戦争国会を粉碎しよう。1・24通常国会開会日闘争一1・25新宿反戦デモ、2・23反戦闘争を大爆発させよう。（本山）

辺野古 軟弱地盤工事着工弾劾

昨年12月28日、沖縄防衛局は辺野古大浦湾の軟弱地盤工事着工を強行した。計画変更代執行の暴挙から1年、海面下最大70㍍まで砂くい約7万本を打ち込むという破綻的工事（そもそも軟弱地盤の最深部は海面下90㍍とされる）に踏み込んだ。しかも、くい打ちの前段階の敷砂作業を年内に無理矢理開始し、「大きな前進」（林官



房長官) などとアピールしている。全国で怒りの声をあげよう。

対中戦争予算8.7兆円 長射程ミサイル

トランプは「GDP3%」要求

12月27日、政府は2025年度予算案の防衛費を、過去最大の8兆7005億円（米軍再編経費を含む）と決めた。総額約43兆円を投じる「防衛力の抜本的強化」の3年目で、膨張が一段と進む。政府の25年度経済見通しに基づくと、防衛費は国内総生産（GDP）比で約1.4%になるという。だが、この程度ではもう済まなくなるだろう。

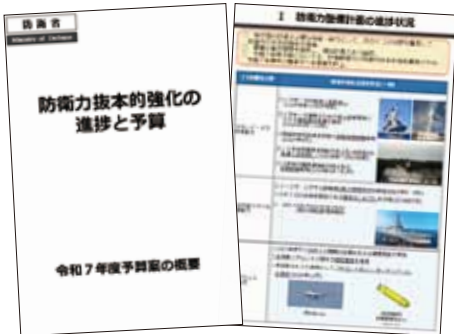
米国のトランプ次期大統領は12月22日、国防次官（政策担当）にエルブリッジ・コルビーを指名すると



発表した。コルビーは第1次トランプ政権で国防次官補代理を務めた人物で、「日本は防衛費をGDP比で3%程度に引き上げるべき」と強く主張している。トランプは「コルビー氏は米国第一主義の外交・防衛政策の提唱者だ。『力による平和』を実現するために国防長官らと協力するだろう」と評した。第2次トランプ政権は、日本政府に軍事費の一層の増額を求めるに違いない。

射程1000~2000km超

防衛省が12月に作成した「令和7年度予算案の概要」は、「防衛力抜本的強化の進捗と予算」というタイトルが示す通り、大軍拡の進捗状況が報告されている。と同時に、その



抜本的強化の進捗と予算」というタイトルが示す通り、大軍拡の進捗状況が報告されている。と同時に、その



12式地对艦ミサイル改良型(射程1000km超)の発射試験の様子。東京都の新島で

報告と予算から、日米の帝国主義がどのような侵略戦争をやろうとしているのかも見えてくる。

「進捗状況」では、①「トマホークの取得1年前倒し（26年度→25年度）」と「12式地对艦誘導弾能力向上型（地上発射型）の配備1年前倒し（26年度→25年度）」が報告されている。この「1年前倒し」には重大な意味があり、アメリカ帝国主義は「2027年に対中国開戦の可能性」（米海軍文書『航海計画2024』）をたびたび公言しているが、日帝がそれに間に合わせようと必死になっているということである。

トマホークも12式ミサイル能力向上型も、射程1000kmを超すもので、トマホークは海自の艦船に、12式ミサイル能力向上型は主に琉球弧の陸自ミサイル部隊に配備すると思われる。それが今年度であり、来年度には高速滑空弾（早期装備型）も配備される予定だ。また、音速の5倍以上の速さで飛び、迎撃が困難な極超音速ミサイルも製造態勢に入る（中央上図を参照）。

| | 2023年度 |
|------------------------|----------------------|
| 12式地对艦誘導弾能力向上型 1000km超 | ★量産着手(地) |
| 潜水艦発射型誘導弾 数百km | □開発着手→ |
| 新 地对艦・地对地精密誘導弾 | □ |
| 高速滑空弾 2000km超 | ★量産着手(身) □開発着手(能) |
| 極超音速誘導弾 2000km超 | □開発着手→ |
| トマホーク 1600km超 | |



進水式の輸送艦「にほんばら」。海上輸送群の部隊は広島の実基地に配備される

「陸・海・空」共同の輸送部隊

「進捗状況」ではさらに②24年度末に新編される「自衛隊海上輸送群（仮称）」が運用する中型と小型

自衛隊司令部・重要施設の地下化が進む

青地は24年度までに着手
赤地は25年度予算の計画



『琉球弧を戦場にするな』

■■■■ ドキュメンタリー映画 (森の映画社) 上映会の報告 ■■■■

学生が都内で3連続上映会 新しい仲間と結びつく

全学連 渡辺祥英

中央大学技術問題研究会と上映学生実行委員会が主催して都内3カ所で12月上映会を行い、多くの学生・市民の参加があり大成功しました。

沖縄・琉球弧の島々で進められている軍事要塞化・中国侵略戦争準備を鋭く写し取っているこの映画は優れたアジテーターであり組織者です。

いま私たちは、中国侵略戦争に対して真っ向から反対し、身体をはっ



て闘う活動家をどれだけ作れるかが問われています。この映画は、アメリカと日本による中国への侵略戦争の現実を鮮やかに示し、多くの人達を反戦闘争に立ち上がらせる力を持っています。今回、ピラを受け取って飛び入り参加した学生や市民が「中国侵略戦争をどう止めるか」

で白熱した議論を繰り広げたことは、その証左といえます。

激しい勢いで中国侵略戦争準備が進められています。既成勢力はすべて中国脅威論に屈し、闘えない。監督は「上映会を開いて皆さん自身が『伝える人』になってください」と言っています。新しい仲間と結びつくために、また活動家にとっても見るのにとってもいい映画です。中国侵略戦争阻止、2025年決戦の武器として、さらに各地で活用しましょう。

区内6カ所で延べ250人 真剣な意見交換、激論も

大行進杉並 茅原まり

「大手メディアが伝ええないなら私たちがやるしかない」のキャッチフレーズを合言葉に、6～12月で区内6会場と数カ所の小規模会場で上映会を行いました。延べ250人が参加、新たな陣形が拡がりました。

6月28日の高円寺上映会は大雨とJR遅延の中で69人が参加。駅頭ピラ、ポスティング、「伝言くん」(掲示板)、沖縄居酒屋、小劇場への置きピラ、会場HPなどで知った等、3分の2が初めて出会う方々。先立つ



久我山上映会

試写会は友達や家族、また職場を組織しての参加もありました。

映像と補足解説に「もっと真剣に沖縄を知りたい」「何かしなければと思った」「自分も上映会したい」など沖縄が皆さんの心に響いている、反戦闘争の軸に沖縄を据える意味は重要と再確認したスタートでした。

その後は地域ごとの宣伝戦を重ね、補足解説も進化し、運営もスタッフ全員で工夫し組織化を進めました。

特筆すべきは12・3韓国戒厳令一民衆決起後の上映会で、会場の雰囲気が一変したことです。若者が「大学で韓国の学生はなぜあんなに闘えるのかと話題になっている」と発言。「戦争するなんて君たちの勝手な主張ではないかと思う」という意見に会場から反論が上がり、「もっと緩やかに広げる工夫を」に対して「中国への侵略戦争が始まろうとしている今激しく闘うことこそ求められている」など激論が交わされました。

大行進杉並は毎月の例会とスタッフ会議で学習し、行動しています。

1・4東拘包囲デモ120名 大坂さん年内奪還を誓う

大坂救援会 杉浦文俊

大坂正明さん救援会と東京労組交流センターは1月4日、2025年を無実の大坂正明さんを取りもどす年にしようと、120人が集まり東京拘置所包囲デモを闘いました。

大坂さんは1971年沖縄闘争を闘い、「殺人罪」でっち上げによる一審懲役20年判決(23年12月)と対決して東京拘置所で闘いぬいています。24年10月に弁護団が控訴趣意書を提出し、控訴審闘争が本格化



しています。昨年12月、広島暴処法弾圧で長期勾留されていた5人の仲間を実力で奪還した地平に立ち、集まった誰もが「次は大坂さんだ」「私たちの闘いで取り戻すぞ」と気持ちみなぎらせていました。

救援会の小泉義秀事務局長は基調報告で、大坂さんの獄中新年メッ

セージを紹介して「広島をめぐる階級攻防はまだ序盤戦。25年は戦争情勢が一層激化する。これと対決し、控訴審闘争に勝利しよう。2025年を大坂さんを絶対に取り戻す年、中国侵略戦争に突き進む石破・トランプを打倒する年にしよう」と提起。

東京拘置所を一周するデモでは、コールの合間に大坂さんに声を届けようと、多くの仲間がマイクを奪い合うように大坂さんに呼びかけ、自らの闘いを報告しました。

絶対反戦貫き大坂さんを実力で取り戻す、年頭の決意あふれる集会とデモになりました。

行動予定 Action Plan

■米兵による少女暴行・対中国侵略戦争反対！石破・トランプ打倒！反戦デモ

とき●1月18日(土)15時～集会、16時～デモ／ところ●沖縄県庁前／主催●改憲・戦争阻止！大行進沖縄(daikoushin_okinawa@yahoo.co.jp)

■星野国家賠償裁判第23回口頭弁論(結審)闘争

とき●1月23日(木)／デモ●12時日比谷公園霞門集合、12時15分出発／街宣●東京地裁前13時～14時／裁判●15時開廷・東京地裁411号法廷

■三里塚団結街道裁判

とき●1月24日(金)10時30分開廷／ところ●千葉地裁601号法廷

■戦争国会粉碎！石破政権打倒！通常国会開会日闘争

とき●1月24日(金)11時～／ところ●参議院議員会館前／主催●改憲・戦争阻止！大行進東京(080-6053-1751)

■「3・11福島を忘れない！」反戦・反核・反原発！学習会

とき●1月25日(土)14時～／ところ●さいたま市与野本町コミュニティセンター／共催●NAZEN埼玉(090-3312-9895)、埼玉反原発アクション

■米・日の中国侵略戦争阻止！石破倒せ！1・25新宿反戦デモ

とき●1月25日(土)18時～集会、18時45分デモ出発／ところ●新宿駅東口広場(アルタ前)／主催●改憲・戦争阻止！大行進東京

■8・6広島暴処法弾圧裁判

とき●第2回=1月29日(水)14時／ところ●広島地裁304号法廷〔※第3回=2月4日(火)、第4回2月14日(金)、第5回3月19日(水)——時間・場所はいずれも14時・広島地裁304号法廷〕

■女性の力を侵略戦争阻止へ！講演学習会

とき●2月1日(土)14時～／ところ●かながわ県民センター 305会議室／主催●改憲・戦争阻止！大行進神奈川(080-5002-8744)

■『ぼくたちは見たーガザ・サム二家の子どもたちー』(86分)上映会

とき●2月1日(土)15時50分開会／ところ●千葉市生涯学習センター B1F小ホール／主催●ちば合同労組(043-225-2207)

■梅田反戦デモ

とき●2月1日(土)18時～／ところ●豊崎西公園(大阪市北区豊崎5-5)／主催●改憲・戦争阻止！大行進関西(06-7503-7232)

■品川区ミサイル避難訓練反対闘争

とき●2月4日(火)9時～／ところ●都営浅草線・戸越駅と戸越銀座交差点付近で抗議行動、その後しながわ中央公園へデモ／主催●大行進東京、大行進東京中部・南部(090-2846-9424)

■8・6ヒロシマ暴処法弾圧裁判闘争報告集会

とき●2月4日(火)18時30分～／ところ●ひとまちプラザ北棟5階研修室C(広島市中区袋町6-36)／主催●8・6ヒロシマ大行動実行委員会

■国鉄闘争全国運動集会

とき●2月9日(日)14時～／ところ●江戸川区総合文化センター小ホール／主催●国鉄闘争全国運動(043-222-7207)

■ウクライナ戦争3年 2・23反戦闘争 in 新宿

とき●2月23日(日)13時～リレートーク→新宿一周デモ／ところ●新宿駅東口広場(アルタ前)／主催●改憲・戦争阻止！大行進(080-6053-1751)

■関生弾圧・「京都3事件」判決批判

とき●2月26日(水)8時30分～／ところ●京都地裁前で事前集会

闘争日誌

▼12月12日 8・6広島暴処法弾圧で不当勾留されていた5人の保釈・奪還を実力でかちとった

▼12月12日 全国水平同盟が主催する狭山中央闘争に120人が結集した

▼12月13日 京大全国学生反戦集会に全国から100人が結集した



▼12月14日 第5回11月集会賛同人賛同団体会議が都内で開かれ、25年11月6000人結集の展望を議論した

▼12月21日 大行進東京・首都圏が主催する中国侵略戦争阻止、石破打倒！新宿反戦デモに320人が結集した

▼12月23日 東京入管デモに40人が参加して強制収容・強制送還の激化を弾劾、収監者を激励した

▼12月24日 千葉地裁で成田空港拡張差し止め裁判が行われた

▼1月1日 大阪府警本部前元旦行動に450人が結集して怒りの声をあげた

▼1月4日 大坂正明さん奪還・東京拘置所デモを120人で闘った

▼1月10日 広島地裁で8・6暴処法弾圧裁判の初公判が開かれ、被告・弁護団の冒頭意見陳述が行われた

| | | |
|--------------------|----------|---------|
| 会計報告(24年12月1日～31日) | ●収入 | 91,543 |
| | 会議費 | 2,000 |
| | 集会カンパ | 89,543 |
| | ●支出 | 8,970 |
| | 集会費(デモ幕) | 4,070 |
| | 事務局活動費 | 4,900 |
| | 備品(ケーブル) | 1,900 |
| | 婦民新聞広告 | 3,000 |
| | ●繰越金 | 331,229 |
| | ●残高 | 413,802 |

「改憲・戦争阻止！大行進」運動は、大規模な反戦デモをめざして全国で取り組んでいます。各地にも「大行進」実行委員会がつくられています。

【呼びかけ】高山俊吉(弁護士)／森川文人(弁護士、憲法と人権の日弁連をめざす会)／

野本三吉(ノンフィクション作家)／洞口朋子(杉並区議会議員)／

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／

全国金属機械労働組合港合同／国鉄千葉動力車労働組合

ブログ <https://stop-kaiken.blog.jp/>

ツイッター(X) <https://x.com/grandmarch2020>



ブログ



ツイッター

カンパのお願い

《振込先》

きらぼし銀行

東新宿支店(071)

普通 5009268

「弁護士 森川文人」